会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業  （３）職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回共通基盤整備事業実施委員会 |
| 開催日時 | 令和4年6月24日（金）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | ＡＰ品川アネックス |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾  委　　　員：五十部　昌克、岡村　慎一、山根　大助、増子　卓矢、  谷　昌一、松田　義弘（OL）、川越　浩　（OL）  　　　　　計8名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計9名 |
| 議題等 | 1.自己点検評価普及セミナー  ・事業計画では、東京、京都、岡山、福岡、オンラインの５回開催することになっていますが、これについてご意見をお聞かせください。（五十部）  ・飯塚さん、それぞれの会場の定員をどうしましょうか。（岡村）  ・今回はオンライン会場と対面会場がありますので、結構設定が難しいですね。東京で50、福岡・京都が30、岡山20ぐらいでしょうか。（飯塚）  ・少し対面の会場が多すぎませんか。岡山では10名集めることも難しい気がします。（高岡）  ・私も同意見です。オンライン会場があることをアナウンスすれば対面会場は相当数数が減るような気がします。（川越）  ・東京プラスの1会場ぐらいでいい気がします。（山根）  ・全専研の会員のバラつきからすると、中四国と九州の会員が多いので動員等も考えると京都より福岡の方が集客できるかもしれません。（増子）  ・オンラインというのは、どのような形式の事でしょうか。（山根）  ・一般的には、日付を特定しセミナーをライブ配信することが多いですね。そのライブ配信映像を加工していつでも視聴できるようにすることをオンデマンドと言いますね。（飯塚）  ・この場合は、どのようなパターンでしょうか（高岡）  ・オンラインの形式については、委員会の中で検討していただければと思います。経験上は、ライブ配信したものを録画し、追って視聴できるようにする、オンライン・オンデマンド方式が良い気がしますが、これをするためには、コンテンツを垂れ流すか受講者管理システムが必要になりますね。（飯塚）  ・いずれにしても、対面会場は2会場ぐらいにしませんか（高岡）  ・皆さんの意見を伺いますと東京・福岡あたりで対面会場を作るのはいかがでしょうか（五十部）  ・対面会場とは対面オンリーでライブは行わないという理解でよろしいでしょうか。このことにより会場環境や会場費が大きく変わることが予測されます。（飯塚）  ・対面とライブを同時に開催する方法だと対面側で集客が出来ないのではないでしょうか（高岡）  ・そうなりますと、対面は東京・福岡でライブは行わないことと、オンラインにより実施の3会場を予定しますか？（五十部）  ・オンデマンドについては、一旦リーダーの方々と検討させていただ・  き次回の会議までに提案をまとめることにさせてください。（五十部）  ・日程と時間について検討したいと思います。現在は8～10月予定の事業計画となっています。（五十部）  ・準備などもあるので10月頃が良いのでは？講師は、委員が行うことと昨年度開発に協力いただいた八木さんにお願いすることが考えられますね。（岡村）  ・八木さんが適任かもしれません。五十部さん八木さんに打診してもらえませんか。（高岡）  ・研修スケジュールはどのようにしましょうか（五十部）  ・事業概要の説明とモデルの説明で2時間ぐらいでしょうか？（高岡）  ・モデルをリリースしてから、沢山の質問があったようですので、質疑応答時間も少し長めにとる必要があるのではないでしょうか（岡村）  ・それでは、事業概要説明、モデル説明、質疑応答、個別対応等を含めて3時間程度でいかがでしょうか？時間としては、２～５時ぐらいでいかがでしょう。（五十部）  ・日程は、10月のスケジュールとして東京と福岡はどんな感じでしょうか。（五十部）  ・福岡は、10月初旬がいいですね。（松田）  ・同じく9月下旬から10月初旬がいいですね。（川越）  ・具体的な日程は、いかがでしょうか。（五十部）  　（それぞれ、日程確認）  ・それでは、時間は14時～17時。9月30日に福岡、10月14日に東京、オンラインは10月7日とさせていただきます。また、オンラインは、追って企画を提出させていただきます。（五十部）  〇第三者評価認証簡略化モデル及び組織運営ガイドラインの開発  ・この件は、昨年度作ったモデルをいくつかの３団体と数校に依頼して実際に簡略化モデルを動かしてみることになります。その結果により簡略化モデルの完成と運営ガイドラインを作ることにあります。（五十部）  ・近日中に菊田さん、関口先生にお会いする機会があるので、私から簡略化モデルのテストランについて依頼してみます。（岡村）  ・QAPHEの川口先生については、私の方でアプローチしてみますが、第三者評価に対する考え方に私共と少し違いを感じますので、良い結果が得られるかはわかりません。（高岡）  ・JAMOTEについては、私から連絡いたします。また、皆様方何らかの結果が出ましたら、Slackで共有をお願いします。また、次回の委員会までに状況を取りまとめて報告してください。（五十部）  〇内部質保証人材育成プログラムの検証および開発  ・この件については、キャリア財団やJAMOTEさんたちと少し内容を詰める必要があります。私からJAMOTEを経由して次回の委員会までに提案したいと思います。（五十部）  ・全体の受講時間はどの程度をそうていしていますか（高岡）  ・キャリア財団が実施している同類のものが2泊3日程度となっています。この事業では15時間程度をベースとして、オンラインによる学習と対面を5～6時間程度が妥当ではないかと考えています。いずれにしても、この人材は今後の専修学校の質保証のために重要な人材となると考えています。できればブロックや都道府県単位で実施できるようになれば良いと思っています。（岡村）  〇次回日程  　・次回の実施委員会の日程は追って調整。  　・運営委員会の日程は7月19日10時～　オンラインにて開催。  〇その他  　・宿泊を伴う旅行について、朝食は自己負担となります。（飯塚）  　・旅行手配をする際は、他の用務が混在しているように見える時間帯での移動はなるべく避けてください。例えば、用務のあった日の翌日の夕方や夜のフライトで帰宅するような日程はなるべく避けていただきたい。また、念のために旅程のわかるリスト等のご提出をお願いします。（飯塚）  　・無料の朝食がついた場合はどうするのか（高岡）  　・無料の朝食がついていることが分かる資料等や領収書上に朝食無料等の記載があると望ましい。（飯塚）  　・その他、判断が難しい場合等については、手配以前に事務局に相談してください。（飯塚） |
| 配布資料 | ・令和4年度事業計画書  ・令和4年度共通基盤整備事業\_第1回実施委員会資料  ・文部科学省事委託事業に関する旅費支出についての注意事項 |

以上